

総合診療科

General Medicine



診療概要

総合診療科は、特定の臓器や病気に限定せず、患者さんの全体像を把握して診療を行う科です。日常的によくある病気や見逃してはならない病気、可能性の高い病気を考えながら、丁寧にお話を伺い、身体の診察を行います。その上で、病気を特定または除外できるよう、必要な検査を選択します。さらに、患者さんが抱える“病い(やまい)”にも目を向けて、患者さんやご家族の思いや希望を大切にしながら、最善の医療を提供しています。

総合診療科を受診される患者さんに多い病気や症状

- かげ
- インフルエンザ
- 腹痛
- 下痢
- 発熱
- 全身倦怠感

特徴・特色

川崎医科大学附属病院では、高度に専門化された診療を提供していますが、専門診療科のみでは対応が難しい患者さんもいらっしゃいます。具体的には、他の医療機関で診断がつかない患者さん、どの診療科を受診すべきか判断が難しい患者さん、複数の診療科にまたがる疾患をお持ちの患者さんなどです。総合診療科では、こうした患者さんの診療を担当しています。

総合診療科で対応可能な場合は、引き続き診療を行いますが、専門的な治療が必要な場合は、適切な診療科へ紹介いたします。このように、総合診療科は院内の各診療科や部門、医療スタッフと連携し、患者さんの健康上の問題に病院全体で取り組んでいます。また、総合診療科は、患者さんや近隣の診療所、他の医療機関と当院をつなぐ「ハブ」としても機能しています。これにより、地域医療の充実と患者さんへの円滑な医療提供を実現しています。

診療実績



診療体制(2025年度から新体制)

総合診療科は、2025年度より新体制を導入し、北館1階の総合診療センターにて、月曜日から金曜日の午前および午後、ならびに土曜日の午前中に診療を行っています。

特に、患者中心の医療提供と地域医療との連携強化を重要視し、担当医師は専門分野にとらわれることなく、多様なニーズに柔軟に対応できる診療を心がけています。



あつしくから
ひとつと

特定の臓器や病気に偏らず、全身をまとめて診る診療科です。幅広い症状に対応し、必要に応じて専門医につなぎます。当院の総合診療科は日本で初めてできた伝統ある科です。幅広い知識や診療技術が必要であり、総合診療ができる医師の研修・育成も行っています。

総合診療科